

初任者研修がスタートしました

初任者研修は、令和5年度倉敷市立小・中学校の新任教諭を対象に、倉敷教育センターが実施する校外研修15回、各学校での校内研修120時間以上で構成されています。1年間の研修を通して、教師としての資質・能力を着実に高めることができるよう全力で応援していきます。



【開講式 あいさつ】

倉敷教育センター 館長 藤田 哲彦

【講義・演習】「めざす教師像」

岡山大学 大学院教育学研究科長 高瀬 淳

研修をスタートするにあたり大切な3つのこと

- 「積極的に研修に取り組む」
研修で学んだことが実践で役立ったり、自身の教育哲学を形成したりすることにつながる。
- 「同期の仲間を大切にする」
同期とのつながりは特別なものになる。
- 「感謝の気持ちを大切にする」
研修を受講できるようにと、支えてくださっている方々に、感謝の気持ちを伝える。

「チーム22期生」として、着実に力を付けていってほしい。

<受講者の感想より>

- 「子どもたちにどう変わってほしいか」というねらいを明確にして、授業を工夫し続けることが大切であると感じました。子どもたちに対する自分の言動を日々振り返りながら、学び続ける教師でありたいと思いました。
- 「できていない子どもだけでなく、できている子どもも置き去りにしない」という言葉が印象的でした。全ての子どもに質の高い教育を行うことができるようにならなければならないと感じました。
- 何を目的にどんなことをするのか、それを実行した結果どうなったのか、それはなぜそうなったのか、ということを常に考え続け、自分自身を成長させていきたいです。

中堅教諭資質向上研修がスタートしました

中堅教諭資質向上研修は、教職経験年数8年目・9年目・10年目の先生方を対象としています。初回は、「教職員の服務と中堅教諭の役割」と題して講義・演習を行いました。教職経験を積んだからこそより理解が深まっている自分に気が付いたり、中堅教諭としての意欲が高まったりした研修となりました。



<受講者の感想より>

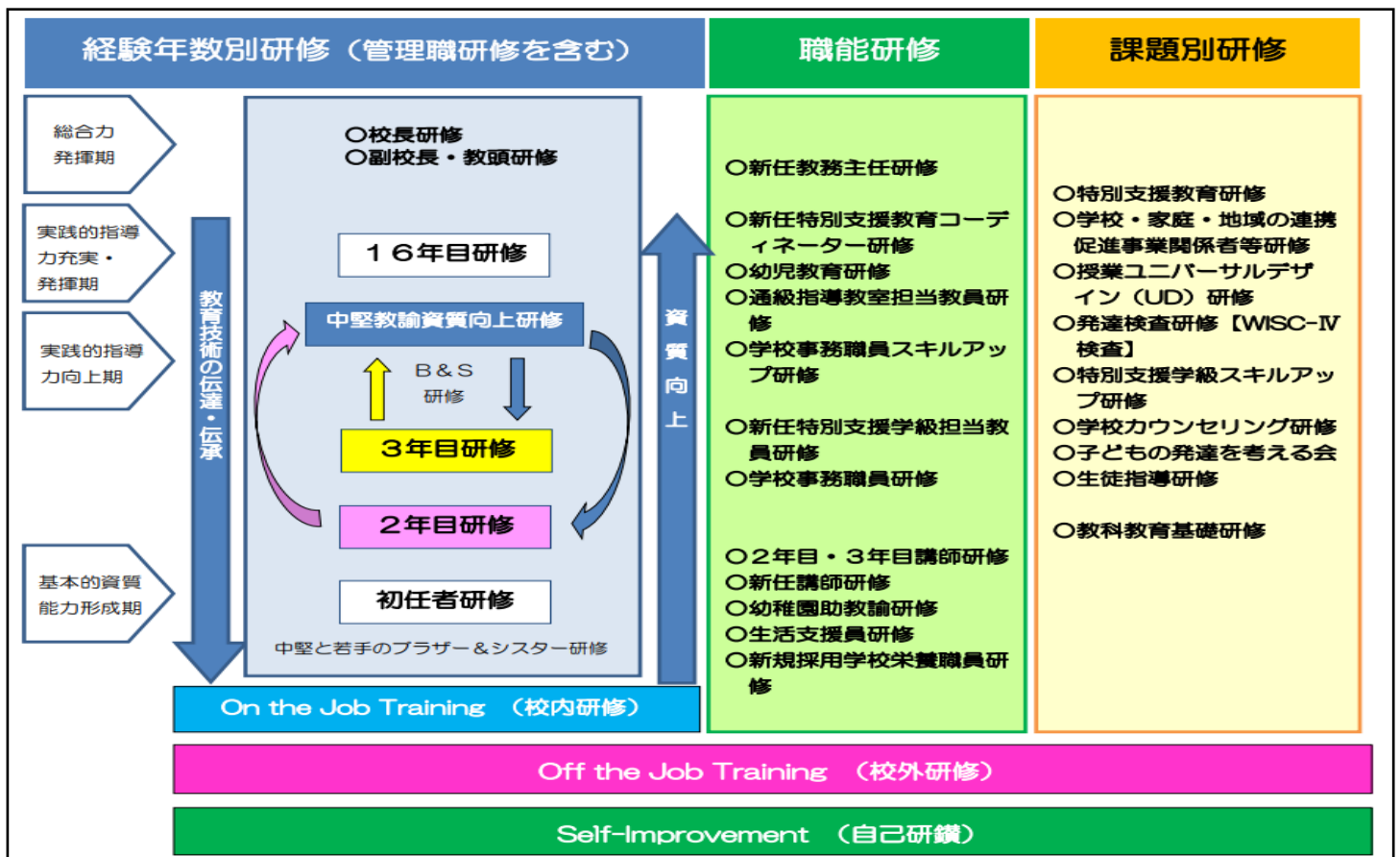
- 子どもや保護者、同僚から信頼される人になりたいと強く思いました。今日の研修で特に感じたのは、同僚とのコミュニケーションをしっかりと取ることの大切さです。不祥事の防止や普段の教育活動を円滑に進めるとい点においてもそうですが、誰もが安心して働ける職場にすることもとても大切だと思いました。いろいろな年代の先生方をつなぐ役割も果たしていきたいです。
- 中堅教諭として、改めて教職員の服務を意識することができました。中堅として責任ある仕事を担当することも増え、一方で、未経験の分野の仕事にとまどうことも多いのですが、慣れから油断してしまい信頼を失うことがないよう、気持ちを引き締めていこうと思います。また、中堅としてできること（経験の浅い教員への声掛け、話しやすい雰囲気づくり）を意識しながら、教育現場に貢献していきたいと思いました。
- 新採用の頃の初心を思い出す機会となりました。服務に関しても、自分が気を付けるものところかと思っていましたが、周りの若手も守るという視点も必要であることに気がきました。また、今後、「こうするべき」ではなく「こうするとよいかも」という気持ちで仕事を進めていきたいです。プライベートの充実が教育の質の向上につながることを他の先生方にも伝え、どうすれば効率よく仕事が進むのか考えていきたいです。

令和5年度 倉敷教育センター 研修体系

～学び続ける教職員のためのつながる研修～

倉敷教育センターでは、資質の向上を図る「経験年数別研修」、職務に特化した「職能研修」、専門性を高める「課題別研修」の3つの柱で教職員研修を計画しています。

今年度も、働き方改革、ICT活用スキルの保持・向上の視点から、一部オンライン研修も組み入れています。受講される先生方の学びようとする姿勢に応えられるよう、そして、先生方の学びが子どもたちの未来につながるよう、より充実した研修を提供していきたいと考えています。倉敷教育センターは先生や保護者の方々の願いや思いに寄り添う機関として、共に悩み、考え、共感しながら次なる一步を踏み出すお手伝いをする“応援団”でありたいと思っています。



倉敷市教育委員会デジタルコンテンツを知っていますか？

倉敷市教育委員会デジタルコンテンツには、子どもたちの学びをサポートする教材「プリントひろば」「タブレットドリル」があります。ここでは問題を印刷して学習したり、コンピュータやタブレット等に直接答えを入力したりして、自分のペースで学習を進めることができます。今後も家庭学習や自主学習に御活用ください。

また、先生方も外部リンクをクリックすると、授業で使える教材や新しい情報につながります。この機会に、文部科学省のホームページもぜひ御覧ください。きっとたくさんのヒントに出合えます。



倉敷ふれあい教室

「倉敷ふれあい教室」は、学校に登校しにくい小学生や中学生が通う教室です。

教育相談や集団生活を通して、集団への適応能力の回復と育成を図るとともに、学校への復帰や自立的な成長を支援していきたいと考えています。「5つのつくり（居場所づくり・人間関係づくり・生活習慣づくり・目標づくり・基礎学力づくり）」を指導方針として、支援をしています。

倉敷ふれあい教室 倉敷教室
倉敷市阿知1丁目7番2-801-1
(くらしきシティプラザ西ビル8階)
TEL・FAX 086-424-3205

倉敷ふれあい教室 水島教室
倉敷市福田町古新田 940
(ライフパーク倉敷内)
TEL 086-454-0400
FAX 086-454-0403

倉敷ふれあい教室 児島教室
倉敷市児島味野4丁目12-4
(旧味野南幼稚園)
TEL・FAX 086-472-3954



倉敷ふれあい教室 玉島教室
倉敷市玉島中央町3丁目14-2
(旧玉島児童館)
TEL・FAX 086-522-0028

倉敷ふれあい教室 真備教室
倉敷市真備町箭田 1141-1
(倉敷市真備保健福祉会館内3階)
TEL・FAX 086-698-8341

ふれあい教室について
詳しいことが知りたいと
いう方の問い合わせをお
待ちしています。

【連絡先】
倉敷教育センター
TEL 086-454-0400
FAX 086-454-0403

こんな活動をしています

- 通室日・・・月曜日～金曜日
- 活動時間・・・9:30～15:00 (水・木 ~13:00)
- 活動内容
スポーツやゲーム、ものづくり、調理、音楽活動、奉仕活動など様々な体験(なかよし活動)に挑戦しています。各自で教科学習(スタディ)も行っています。
- オープン活動
学校に登校しにくい小・中学生が、倉敷ふれあい教室の子どもたちと関わったり、次の一歩を踏み出したりする機会です。(オープン活動の予定日は、倉敷教育センターホームページに掲載しています。参加希望の方は、各ふれあい教室へ御連絡ください。)





一人で抱えないで
お話しませんか？

教育相談

◎ 一般の教育相談（電話相談・面談相談）

学校園生活、子育てに関すること、就園・就学に関すること、不登校やいじめ等に関すること、進路に関すること、発達障がいに関する事などの御相談をお待ちしております。

※面談を希望される場合は、お電話でお申し込みください。

●対 象：倉敷市内在住の幼児・児童・生徒とその保護者、学校園の先生など

●相談日：毎週月曜日～土曜日 9：00～12：00、13：00～16：00

◎ 臨床心理士による教育相談（面談相談）※要予約

子どもの不登校や発達障がいに関して、専門的な知識を必要とする相談を行っています。まずは、お電話でお申し込みください。

●対 象：倉敷市内在住の幼児・児童・生徒とその保護者、学校園の先生など

●相談日：毎週木曜日 10：00～15：00（1回が50分程度）

●受 付：日曜日・祝日を除く9：00～17：00（お電話のみ）

特別支援教育がテーマの座談会「とらいあんぐる」

◎ 保護者や教育・福祉関係者が参加して、特別支援教育や障がいのある子どもに関する不安や悩みについて話し合う少人数の座談会です。

●日 時：原則、毎月第4土曜日（詳細は倉敷教育センターホームページで御確認ください。）
9：30～12：00

●場 所：ライフパーク倉敷2階 倉敷教育センター研修室 等

年3回、川崎医療福祉大学講師 重松 孝治先生からアドバイスをいただくことができます。

●相 談 日：①7月22日（土） ②10月28日（土） ③1月27日（土）

●受 付：日曜日・祝日を除く9：00～17：00（お電話のみ）

●定 員：各10名（申込み先着順）

●申込み期間：各回の1か月前～開催日前日

※少人数の座談会形式であり、1対1の個別相談ではありません。

不登校がテーマの座談会「かけはし」

◎ 保護者や教育関係者が参加して、不登校に関する不安や悩みについて、専門の先生を講師に迎えて話し合う少人数の座談会です。かつて不登校に悩んでいた先輩の保護者の体験を聞き、互いにサポートし合える会です。（不登校支援のNPO法人と共同実施）

●日 時：原則、毎月第2、4土曜日（詳細は倉敷教育センターホームページで御確認ください。）
14：00～16：00

●場 所：ライフパーク倉敷2階 倉敷教育センター研修室 等

倉敷教育センター

電 話 (086) 454-0400

ホームページ <https://www.kurashiki-oky.ed.jp/lpk-kyoiku-c/>

